	ᆔᆝᆍᇊᆿ	等專門学校	開講年度 令和06年度 (2	2024年度)	授業科目				
料日甘	サ ム米の、 礎情報	万 门丁仪	// 文/十·OOUItel 文/十 en emi	-04寸十/又/	スポパロ				
		1,,,,,,,		TUDE ()		<u></u>			
科目番号		1313B0	1	科目区分	専門 / 必何				
授業形態		授業		単位の種別と単位数	履修単位:	2			
開設学科	1	電気コー	ス	対象学年	3				
開設期		通年		週時間数	前期:2 後期:2				
教科書/勃	 教材	電気磁気	学(森北出版)/演習 電気磁気学(森北		'				
担当教員		長谷川首		4/11/2)					
		рхцлі ч	<u></u>						
到達目									
2. 誘電 3. 磁荷 4. 電流	電率、電束密 す、透磁率、 まによる磁界	磁力線、磁束 をアンペアの	る。 の定義を説明でき計算ができる。 などの定義を説明でき計算ができる。 法則、ビオ・サバールの法則、磁気叵 を計算することができる。	路によって計算できる	0				
ルーブ	リック								
<i>,</i> ,	<u> </u>		理想的な到達レベルの目安	無進的+2到達しべま		最低限の到達レベルの目安			
到達目標1				標準的な到達レベルの目安					
			電位と静電容量の計算が応用問題でもできる。	電位と静電容量の基本問題に関 る計算ができる。		電位と静電容量の基本問題に関する計算が一部できる。			
到達目標	₹2		誘電率、電束密度、分極などの定 義を説明でき、応用問題も計算が できる。	誘電率、電束密度、 義を説明でき、基本 計算ができる。	分極などの定 問題に関する	誘電率、電束密度、分極などの定 義説明や基本問題に関する計算が 一部できる。			
到達目標	 ₹3		磁荷、透磁率、磁力線、磁束など の定義を説明でき、応用問題も計 算ができる。	磁荷、透磁率、磁力 の定義を説明でき、 する計算ができる。	線、磁束など 基本問題に関	磁荷、透磁率、磁力線、磁束など の定義説明や基本問題に関する計 算が一部できる。			
到達目標	₹ 4		電流による磁界をアンペアの法則 、ビオサバールの法則、磁気回路 により計算することができる。	電流による磁界をア、ビオサバールの法により基本問題についることができる。	則、磁気回路	電流による磁界をアンペアの法則 、ビオサバールの法則、磁気回路 により基本問題の一部は計算する ことができる。			
到達目標	≅5		誘起起電力、インダクタンスを応 用問題も計算することができる。	誘起起電力、インダ 本問題に関する計算	クタンスの基 ができる。	誘起起電力、インダクタンスの基本問題に関する計算が一部できる。			
学科の	到達日煙	項目との関	 係						
			・教育到達度目標 D-1						
		保 D-3 子舀	· 教育到建设日倧 D-I						
教育方	法等								
概要		電気磁気 で最も大 目標とす	学は、現在の技術社会をもたらした重 切な基礎科目である。本講義では、電 る。	要な字問分野の一つで 気磁気現象の様々な定	あり、電気糸 理、法則につ	の字生にとっては電気回路論と亚んいて理解を深め応用力を養うことを			
授業の進	₤め方・方法	教科書や	また次ツナはロニテキギャン・ボッチ						
注 产上		0	配布資料を使用して講義形式で授業を 間60時間】	進めていく。必要に応	じて課題を出	し、レポートの形で提出してもらう			
注意点		。 【授業時 本講義は		2年次の内容をよく復	習しておいて				
	属性・履	。 【授業時 本講義は	間60時間】 2年次の電気磁気学の継続ですので、 は数学の力が重要になりますので、数	2年次の内容をよく復	習しておいて				
授業の	属性・履e ティブラー:	。 【授業時本講義はを解くに 修上の区分	間60時間】 2年次の電気磁気学の継続ですので、 は数学の力が重要になりますので、数	2年次の内容をよく復	習しておいて				
授業の □ アク・	ティブラー	。 【授業時本講義はを解くに 修上の区分	間60時間】 2年次の電気磁気学の継続ですので、 は数学の力が重要になりますので、数	2年次の内容をよく復 学もよく復習しておい	習しておいて	ください。また、電気磁気学の問題			
授業の □ アク・	ティブラー	。 【授業時本講義はを解くに 修上の区分	間60時間】 2年次の電気磁気学の継続ですので、 は数学の力が重要になりますので、数	2年次の内容をよく復 学もよく復習しておい	習しておいて	ください。また、電気磁気学の問題			
授業の □ アク・	ティブラー	(授業時本講義はを解くに 修上の区分	間60時間】 2年次の電気磁気学の継続ですので、は数学の力が重要になりますので、数	2年次の内容をよく復 学もよく復習しておい □ 遠隔授業対応	習しておいて	ください。また、電気磁気学の問題 □ 実務経験のある教員による授業			
授業の □ アク・	ティブラー	(授業時本講義はを解くに修上の区分	間60時間】 2年次の電気磁気学の継続ですので、は数学の力が重要になりますので、数 図 ICT 利用	2年次の内容をよく復 学もよく復習しておい □ 遠隔授業対応 週2	習しておいて てください。 ごとの到達目標	ください。また、電気磁気学の問題 □ 実務経験のある教員による授業			
授業の □ アク・	ティブラー	で 【授業時本講義はを解くに 修上の区分 ニング	間60時間】 2年次の電気磁気学の継続ですので、は数学の力が重要になりますので、数 I ICT 利用 授業内容 電位と静電容量	2 年次の内容をよく復学もよく復習しておい □ 遠隔授業対応 週ご	習しておいて てください。 ごとの到達目標 かを使って電位	ください。また、電気磁気学の問題 □ 実務経験のある教員による授業 を計算できる。			
授業の □ アク・	ティブラー	で 【授業時本講義はを解くに 修上の区分 ニング 週 1週 2週	間60時間】 2年次の電気磁気学の継続ですので、は数学の力が重要になりますので、数 図 ICT 利用 授業内容 電位と静電容量 電位と静電容量	2年次の内容をよく復学もよく復習しておい 遠隔授業対応 週ご 積が	習しておいて てください。 ごとの到達目標 かを使って電位	ください。また、電気磁気学の問題 □ 実務経験のある教員による授業 □ 実務経験のある教員による授業 □ を計算できる。 □ を計算できる。			
授業の □ アク・	ティブラー	で (授業時本講義はを解くに 修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週	間60時間】 2年次の電気磁気学の継続ですので、は数学の力が重要になりますので、数 図 ICT 利用 授業内容 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量	2年次の内容をよく復学もよく復習しておい □ 遠隔授業対応 □ 遺隔 預	習しておいて てください。 ごとの到達目標 を使って電位 を使って電位	ください。また、電気磁気学の問題 □ 実務経験のある教員による授業 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。			
授業の □ アク・	ティブラー:	(授業時本講義はを解くに 修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週	間60時間】 2年次の電気磁気学の継続ですので、は数学の力が重要になりますので、数 図 ICT 利用 授業内容 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量	2年次の内容をよく復学もよく復習しておい □ 遠隔授業対応 □ 遺隔 積	習しておいて てください。 ごとの到達目標 かを使って電位 かを使って電位 かを使って電位	ください。また、電気磁気学の問題 □ 実務経験のある教員による授業 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。			
授業の □ アク・	ティブラー	で (授業時本講義はを解くに 修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週	間60時間】 2年次の電気磁気学の継続ですので、は数学の力が重要になりますので、数 図 ICT 利用 授業内容 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量	2年次の内容をよく復学もよく復習しておい □ 遠隔授業対応 □ 遺隔 積	習しておいて てください。 ごとの到達目標 かを使って電位 かを使って電位 かを使って電位	ください。また、電気磁気学の問題 □ 実務経験のある教員による授業 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。			
授業の □ アク・	ティブラー:	(授業時本講義はを解くに 修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週	間60時間】 2年次の電気磁気学の継続ですので、は数学の力が重要になりますので、数 図 ICT 利用 授業内容 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量	2年次の内容をよく復 学もよく復習しておい □ 遠隔授業対応 週ご 積分 積分 誘電 誘電	習しておいて てください。 ごとの到達目標 かを使って電位 かを使って電位 かを使って電位 配体の静電容量 配体の静電容量	ください。また、電気磁気学の問題 □ 実務経験のある教員による授業 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。			
授業の □ アク・	ティブラー:	を を を を を を を を が を が で が で が で が で が で が で が で が で が の で が の で が の の の の の の の の の の の の の	間60時間】 2年次の電気磁気学の継続ですので、は数学の力が重要になりますので、数 図 ICT 利用 授業内容 電位と静電容量	2年次の内容をよく復 学もよく復習しておい □ 遠隔授業対応 週ご 積分 積分 誘電 誘電 誘電	習しておいて てください。 ごとの到達目標 かを使って電位 を使って電位 を体の静電容量 個体の静電容量	ください。また、電気磁気学の問題 □ 実務経験のある教員による授業 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。			
授業の □ アク・	ティブラー:	を を を を を を を を を を を を を が で の で の で の の の の の の の の の の の の の	間60時間】 2年次の電気磁気学の継続ですので、は数学の力が重要になりますので、数 図 ICT 利用 授業内容 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 高位と静電容量 高位と静電容量 高位と静電容量 高位と静電容量 高位と静電容量 高位と静電容量	2年次の内容をよく復 学もよく復習しておい □ 遠隔授業対応 週ご 積分 積分 誘電 誘電 誘電	習しておいて てください。 ごとの到達目標 かを使って電位 を使って電位 を体の静電容量 個体の静電容量	ください。また、電気磁気学の問題 □ 実務経験のある教員による授業 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。			
授業の □ アク・	ティブラー:	を を を を を を を を を を を を を の で の の の の の の の の の の の の の	間60時間】 2 年次の電気磁気学の継続ですので、は数学の力が重要になりますので、数 図 ICT 利用 授業内容 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と前電容量 電位と前電容量	2年次の内容をよく復学もよく復習しておい □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応	習しておいて てください。 ごとの到達目標 を使って電位 を使って電位 体の静電容量 極体の静電容量 極体の分極につ	ください。また、電気磁気学の問題 □ 実務経験のある教員による授業 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 いて説明できる。			
授業の □ アク 授業計	ティブラー:	を (授業時は 本をの区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	間60時間】 2年次の電気磁気学の継続ですので、は数学の力が重要になりますので、数 図 ICT 利用 授業内容 電位と静電容量 高位と静電容量	2年次の内容をよく復学もよく復習しておい □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遺の 積分 積分	習しておいて てください。 ごとの到達目標 かを使って電位 かを使って電位 かを使って電位 なの静電容量 をの分極につ 意体の分極につ	ください。また、電気磁気学の問題 □ 実務経験のある教員による授業 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 かに説明できる。 かいて説明できる。			
授業の □ アク 授業計	ティブラー:	を (授業時は 本を解くこの区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	間60時間】 2年次の電気磁気学の継続ですので、は数学の力が重要になりますので、数 図 ICT 利用 授業内容 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 ではいいでは、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	2年次の内容をよく復学もよく復習しておい □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遺隔 積	習しておいて てください。 ごとの到達目標 かを使って電位 かを使って電位 を使って電位 体の静電容量 個体の静極につ 個体の分極につ を変度、分極の で密度、分極の	ください。また、電気磁気学の問題 実務経験のある教員による授業 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 で計算できる。 で計算できる。 で計算できる。 で計算できる。 で計算できる。 で計算できる。			
授業の □ アク 授業計	ティブラー:	を (授業時は 本をの区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	間60時間】 2年次の電気磁気学の継続ですので、は数学の力が重要になりますので、数 図 ICT 利用 授業内容 電位と静電容量 高位と静電容量	2年次の内容をよく復学もよく復習しておい □ 遠隔授業対応 □ 遠隔授業対応 □ 遺隔 積	習しておいて てください。 ごとの到達目標 かを使って電位 かを使って電位 を使って電位 体の静電容量 個体の静極につ 個体の分極につ を変度、分極の で密度、分極の	ください。また、電気磁気学の問題 □ 実務経験のある教員による授業 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 かに説明できる。 かいて説明できる。			
授業の □ アク 授業計	ティブラー:	を (授業時は 本を解くこの区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	間60時間】 2年次の電気磁気学の継続ですので、は数学の力が重要になりますので、数 図 ICT 利用 授業内容 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 ではいいでは、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	2年次の内容をよく復 学もよく復習しておい □ 遠隔授業対応 週ご 積分 積分 で 誘電 誘電 誘電 誘電 誘電 誘電 誘電	習しておいててください。 ごとの到達目標 かを使って電位 かを使って電位 を使って電位 を使って電位 を体の静電容量 個体の分極につ 個体の分極につ のを度、分極の 反密度、分極の のを境界面での	ください。また、電気磁気学の問題 実務経験のある教員による授業 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 で計算できる。 で計算できる。 で計算できる。 で計算できる。 で計算できる。 で計算できる。			
授業の	ティブラー:	を を を を を を を と の に が と の に が と の に 。 に 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	間60時間】 2年次の電気磁気学の継続ですので、は数学の力が重要になりますので、数 ② ICT 利用 授業内容 電位と静電容量 高速位と静電容量	2年次の内容をよく復学もよく復習しておい 学もよく復習しておい 」 遠隔授業対応	習しておいて でとの到達目標 かを使ってて電位 をを使ってて電位 を体の静電で 運体の分極につ を密度、分極の 運体の分極につ で変度、分極の 運体境界面での 運体境界面での	ください。また、電気磁気学の問題 □ 実務経験のある教員による授業 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 して説明できる。 いて説明できる。 いて説明できる。 いて説明できる。 いて説明できる。			
授業の □ アク 授業計	更 IstQ	を (授業時は 本をの区分 に が の区分 に の区分 に の区分 に の区 の の の の の の の の の の の の の	間60時間】 2 年次の電気磁気学の継続ですので、は数学の力が重要になりますので、数 図 ICT 利用 授業内容 電位と静電容量	2年次の内容をよく復学もよく復習しておい 学もよく復習しておい 」 遠隔授業対応	習しておいて でとの到達目標かを使ってて電位を使ってて電位を使ってで電位を体の静電電容量体の分極についます。 を変度、分極の を変度、分極の を変度、分極の を変度、分極の を変度、分極の を変度、分極の を変度、分極の を変度、分極の を変度、分極の を変度、分極の を変度、分極の を変度を覚解しての を変形しての を変形しての を変形しての を変形しての を変形しての を変形しての を変形しての を変形しての を変形しての を変形しての を変形しての を変形しての を変形しての を変形した。 を変形し、 を変形を を変形を を変形し、 を変形を を変形を を変形を を変形を を変形	ください。また、電気磁気学の問題 □ 実務経験のある教員による授業 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 かて説明できる。 いて説明できる。 いて説明できる。 いけずができる。 は、おりができる。			
授業の □ アク 授業計	更 IstQ	を を を を を を を を を を の で の で の の の の の の の の の の の の の	間60時間】 2年次の電気磁気学の継続ですので、は数学の力が重要になりますので、数 「図 ICT 利用 授業内容 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 誘電体	2年次の内容をよく復学もよく復習しておい 学もよく復習しておい 」 遠隔授業対応 週こ 積分 積分 積気 誘電 電 誘っ 誘って で ます 電 電 誘って	習しておいて でとの到達目標の かを使ってて電電位 を使のか静電での をを使のか静電ででの を変度、分面でで を変を境界の面面を を変を境界の面面を を変をでいた。 を変が、 を変してでで を変をでした。 を変をでいた。 を変してでの を変してででの を変してである。 を変してでの を変してである。 を変してである。 を変してである。 を変してである。 を変してである。 を変してである。 を変してである。 を変してである。 を変してである。 を変してである。 を変していた。 を変した。 を変して、 を変して を変して、 を変して、 を変して を変して を変して を変して を変して を変して を変して を変して	ください。また、電気磁気学の問題 □ 実務経験のある教員による授業 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 が表計算できる。 が表計算できる。 が表計算できる。 が表計算ができる。 いて説明できる。 いは現りできる。 は関係を使って計算ができる。 は現条件を使って計算ができる。 れるエネルギーと力について説明と			
授業の □ アク 授業計	更 IstQ	を を を を を を を を の に が と の に の に の に の の の の の の の の の の の の の	間60時間】 2年次の電気磁気学の継続ですので、は数学の力が重要になりますので、数 図 ICT 利用 授業内容 電位と静電容量 高速はと静電容量 高速はときる。	2年次の内容をよく復学もよく復習しておい 学もよく復習しておい 」 遠隔授業対応 週こ 積分 積分 積気 誘電 電 誘っ 誘って で ます 電 電 誘って	習しておいて でとの到達目標の かを使ってて電位 を使ってて電管 を使ってで電管 を使ってで電管 体の分極にて を密度、分極の 食体の分極にて を密度、分極の 食体境界面での 食体中きる でできる でできる。 の	ください。また、電気磁気学の問題 □ 実務経験のある教員による授業 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 のに説明できる。 いて説明できる。 いて説明できる。 いて説明できる。 いて説明できる。 いて説明できる。 いれて説明できる。 いれて説明できる。 いれて記明できる。 いれて記明できる。 いれて記明できる。 いれて記明できる。 いれて記明できる。 いれて記明できる。 いれて記明と れるエネルギーと力について説明と			
授業の □ アク 授業計	更 IstQ	(授業時はに 大の区) (表別区) (表別区) (表別区) (表別区) (表別区) (表別の区) (表別のE) (表別のE) (表別のE)	間60時間】 2年次の電気磁気学の継続ですので、は数学の力が重要になりますので、数 「図 ICT 利用 授業内容 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 電位と静電容量 高位と静電容量 高速はといまる。	2年次の内容をよく復学もよく復習しておい 学もよく復習しておい 遠隔授業対応 週で 積分、積積分 でででである。 でででは、できない。 週でのでは、できない。 週でのでは、できない。 ででは、できない。 できな、 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できな、 できない。 できな、 できな。 できな、 できな、 できな、 できな、 できを、 できを、 できを、 できを、 できを、 とを、 できを、 できを、 とを、 とを、 とを、 とを、 とを、 とを、 とを、 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。	習しておい。	ください。また、電気磁気学の問題 □ 実務経験のある教員による授業 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 のいて説明できる。 いて説明できる。 いて説明できる。 いて説明できる。 いて説明できる。 いれて説明できる。 は、対算ができる。 いれて説明できる。 は、対算条件を使って計算ができる。 は、対策条件を使って計算ができる。 れるエネルギーと力について説明と れるエネルギーと力について説明と			
授業の □ アク 授業計	更 IstQ	を を を を を を を を の に が と の に の に の に の の の の の の の の の の の の の	間60時間】 2年次の電気磁気学の継続ですので、は数学の力が重要になりますので、数 図 ICT 利用 授業内容 電位と静電容量 高速はと静電容量 高速はときる。	2年次の内容をよく復学もよく復習しておい 学もよく復習しておい 遠隔授業対応 週ご 積分 積積分 誘誘電 誘誘電 誘誘電 誘誘電 誘誘電 誘誘電 誘誘電 誘誘電 調誘誘電 調	習しておい。	ください。また、電気磁気学の問題 □ 実務経験のある教員による授業 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 を計算できる。 のに説明できる。 いて説明できる。 いて説明できる。 いて説明できる。 いて説明できる。 いて説明できる。 いれて説明できる。 いれて説明できる。 いれて記明できる。 いれて記明できる。 いれて記明できる。 いれて記明できる。 いれて記明できる。 いれて記明できる。 いれて記明と れるエネルギーと力について説明と			

		3週	静磁界					磁界中の電流に作用する力、ローレンツ力、磁気エネ ルギーを説明できる。						
		4週	<u>l</u>	静磁界					アンペアの周回積分の法則により、電流による磁界を計算できる。					
		5週	Į	静磁界	益界			アンペア 計算でき	アンペアの周回積分の法則により、電流による磁界を 計算できる。					
		6週	<u>[</u>	静磁界	早				アンペアの周回積分の法則により、電流による磁界を計算できる。					
		7週	Į	静磁界			ビオ・サ できる。	ビオ・サバールの法則により、電流による磁界を計算 できる。						
		8週		後期中間試験										
		9週	l	静磁界	界		ビオ・サ できる。	ビオ・サバールの法則により、電流による磁界を計算 できる。						
		10週		静磁界			ビオ・サ できる。	ビオ・サバールの法則により、電流による磁界を計算						
		11週		静磁界			磁気回路	磁気回路により、電流による磁界を計算できる。						
4	thQ	12ì	周	磁性体	ς		磁性体の。	磁性体の種類、磁性体の境界条件について説明できる。						
		13ì	周	電磁誘導とインダクタンス				電磁誘導	電磁誘導について説明できる。					
		14週 電磁		電磁語	『磁誘導とインダクタンス			ファラテ	ファラデーの法則により誘導起電力を計算できる。					
		15ì	周	電磁語	秀導とインダ	クタンス		自己イン る。	自己インダクタンス、相互インダクタンスを計算る。		を計算でき			
		16ì	周	学年末試験と返却										
モデルコス	アカリゴ	FJ:	ラムの	学習	内容と到達	桂目標								
分類			分野		学習内容	学習内容	の到達目標				到達レベル		授業週	
		の専 電気・電子 系分野				電界、電位、電気力線、電束を説明でき、これらを用いた計算ができる。			3		前1,前2,前 3			
						誘電体と分極及び電束密度を説明できる。			4		前6,前7,前 9,前10			
					電磁気	静電容量を説明でき、平行平板コンデンサ等の静電容量を計算で きる。			4		前4,前5			
						静電エネルギーを説明できる。			3		前13,前14			
						磁性体と磁化及び磁束密度を説明できる。			3		後2			
専門的能力	分野別の 門工学					電流が作る磁界をビオ・サバールの法則を用いて計算できる。			3		後6,後7			
131 31 31307 3	門工字			,		電流が作る磁界をアンペールの法則を用いて計算できる。			3		後4,後5			
						磁界中の電流に作用する力を説明できる。			4		後3			
						ローレンツカを説明できる。			4		後3			
						磁気エネルギーを説明できる。			4		後3			
						電磁誘導を説明でき、誘導起電力を計算できる。			3		後12,後13			
						自己誘導と相互誘導を説明できる。			3		後14			
						自己インダクタンス及び相互インダクタンスを求めることができ る。		3		後14				
評価割合	-						1	ì			1			
定期試験			小テスト		ポートフォリオ	発表・取り組み 勢	か 姿	その他	合計					
総合評価割合		80		0		20	0		0	100				
基礎的能力		20		0		5	0		0 25					
専門的能力		60		0		15	0		0 75		5			
分野横断的能力 0					0		0	0		0	0			